

「おし歯ではないのに歯がしみる。 どうして？」 それは「知覚過敏」です！



歯を磨いたり冷たいものを口に入れた途端、おし歯でもないのに何とも言えない嫌な感じに歯がしみる場合があります。これが「知覚過敏」です。知覚過敏は、なぜおきるのでしょうか？

刺激を「痛み」と伝える歯の神経

表面の硬いエナメル質の層の下にある象牙質の中には、放射状に「象牙細管」という細い管が歯の神経（歯髄）

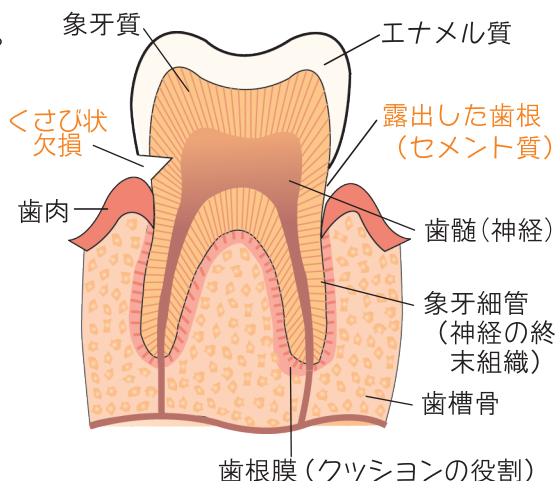
に向かって通っています。外からの刺激はこの管を通じて神経に伝わり、神経はそれらの刺激を「痛み」として脳に伝えます。おし歯でなくとも象牙質が直接刺激にさらされる状態になれば、歯はしみて痛みを感じます。

象牙質が直接刺激にさらされたとき（くさび状欠損の場合）

象牙質は、強い力で横磨きしたり、かみ合わせが悪くて歯によけいな力がかかったりした部分では、エナメル質が削れて露出してしまいます。刺激に直接さらされて、歯はしみて感じます。

セメント質が露出したとき

また、歯周病が進行すると、歯ぐきが下がって歯の根の部分が見えるようになります。歯根部分の象牙質はエナメル質よりやわらかなセメント質で覆われているだけです。何かの拍子にセメント質が欠けて象牙質が露出すると、やはり歯がしみて感じられます。



治療は、象牙質の削れた部分に詰め物して象牙質を保護します。顔を出した部分に薬を塗布する、歯の根にコーティングを施して刺激を遮断するなどの治療法もあります。その方の状態によって治療法を選びます。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

7 2010年
月号

梅雨のジメジメした天气が続きます。梅雨時は、体調を崩しやすい時期です。ご注意下さい。

お年寄りやお子さん連れの方々が、雨の中予約時間に間に合うよう来ていただくお姿を拝見すると、とても嬉しく思います。感謝しております。雨の日には、入り口横にタオルを用意させていただいております。遠慮なく雨しずくをお拭き下さい。

24日（土）に、恒例の葛飾区『よい歯の集い』がシンフォニーヒルズで開催されます。今年は、院長が6回目の講演を依頼されております。『よい歯』で表彰された児童、生徒さんを前に講話の内容を考えるのも大変ですが、「これからも歯を守ろう」というテーマでお話しします。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

- ・7月24日(土)午後「よい歯のつどい」講演のため休診
- ・8月12日(木)～17(火) 夏期休診の予定

こみや歯科

03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <https://dn2.dent-sys.net/komiya>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp